

2017年6月8日

団体年金事業における「情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)」の認証取得ならびに新サービスの開始について

第一生命保険株式会社(社長:稲垣 精二、以下「当社」)では、団体年金事業部門(注1)において、「情報セキュリティマネジメントシステム(以下、ISMS)」(注2)の認証を取得しました(2017年4月21日付)。企業年金を扱う事業分野での取得は保険業界で初めてです。

当社では、これまで「お客さま第一主義」という創業以来の当社の経営理念に基づき、日本経営品質賞の受賞などお客さまに向けて経営品質の向上に努めてきました。このような取組の一環として、団体年金の実務を担う団体年金事業部門におきましても、お客さまからお預かりした顧客・団体情報等を厳正に管理して業務に取り組むことで、より付加価値の高いサービスをご提供できるように ISMS の認証を取得しました。

今回の認証取得は、情報管理態勢について、当事者意識をもって自律的に改善する当社の取組みが、情報セキュリティマネジメントの国際規格に適合すると認められたものです。具体的には、期始に業務計画を策定(PPLAN)して業務遂行(DO)し、セルフアセスメント(CHECK)したうえで、各種会議でフォローして改善する(ACT)当社の取組が高く評価されました。

また、今回の認証取得と共に、お客さまが行っている企業年金に関する事務の一部を当社が有料で担い、お客さまの働き方改革をサポートする新たなサービスを開始しました。

今後も取得した認証を維持更新し、情報セキュリティに関するお客さまの期待に応え、より高品質の事務を提供できるよう努めていきます。

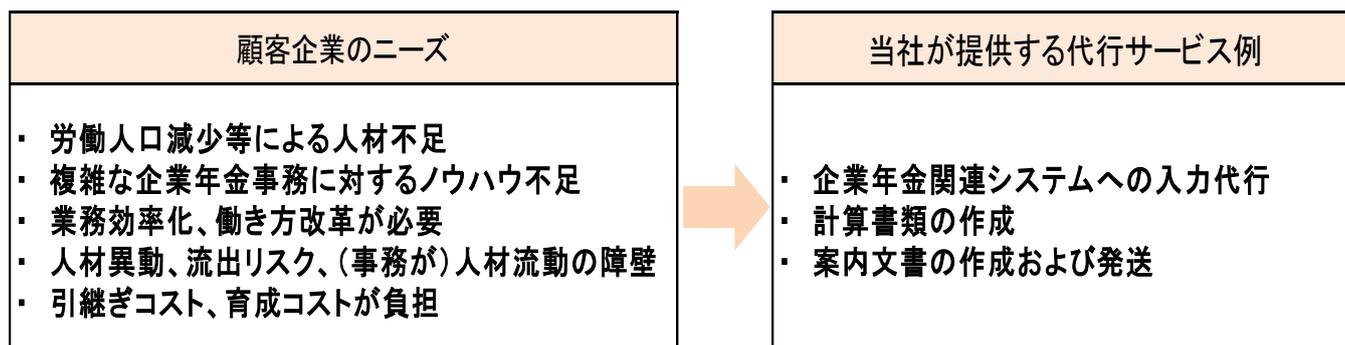
1. 認証概要

取得認証規格	JIS Q 27001:2014(ISO/IEC27001:2013)
登録の対象となるサービスの範囲	団体年金事業の事務・サービスの提供に関する業務
審査登録機関	一般社団法人 日本能率協会
登録番号	JMAQA-S157
登録日	2017年4月21日

2. 企業年金に関する事務の一部代行サービスについて

複雑な企業年金事務のノウハウ不足や人材不足等の課題を抱える企業に向けて、当社が企業年金に関する事務を一部代行する有料サービスを開始しました。本サービスにより、企業の事務負担軽減、業務効率化を通じた働き方改革に貢献できると考えています。

<サービス概要>



【注1】団体年金事業部門(今回の認証取得範囲)

団体年金サービス部(団体年金サービス推進課、企業年金業務室、ドリーム年金室)、団体年金事業部(企業年金数理室)

【注2】ISMS(Information Security Management System)とは

「国際標準化機構」が定めている、情報セキュリティを管理する仕組みについての国際規格です。正式名称を「情報技術－セキュリティ技術－情報セキュリティマネジメントシステム－要求事項」といい、情報セキュリティマネジメントに関する一定水準を満たし、情報セキュリティ管理態勢を構築した場合に認められる認証規格です。この規格は情報資産の機密性、完全性および可用性を維持することを目的とし、情報セキュリティを管理するための仕組みを構築していることを必要とします。必要な情報を必要な人だけが、正確な情報を利用できる状態にしておくことを目的とし、その目的を達成するための技術的な対策と組織態勢を構築することが求められています。